

災害共助SNS

ゆいぽた

Resilience+

# ゆいぽた 導入実績

Resilience

## ■ ゆいぽた導入実績

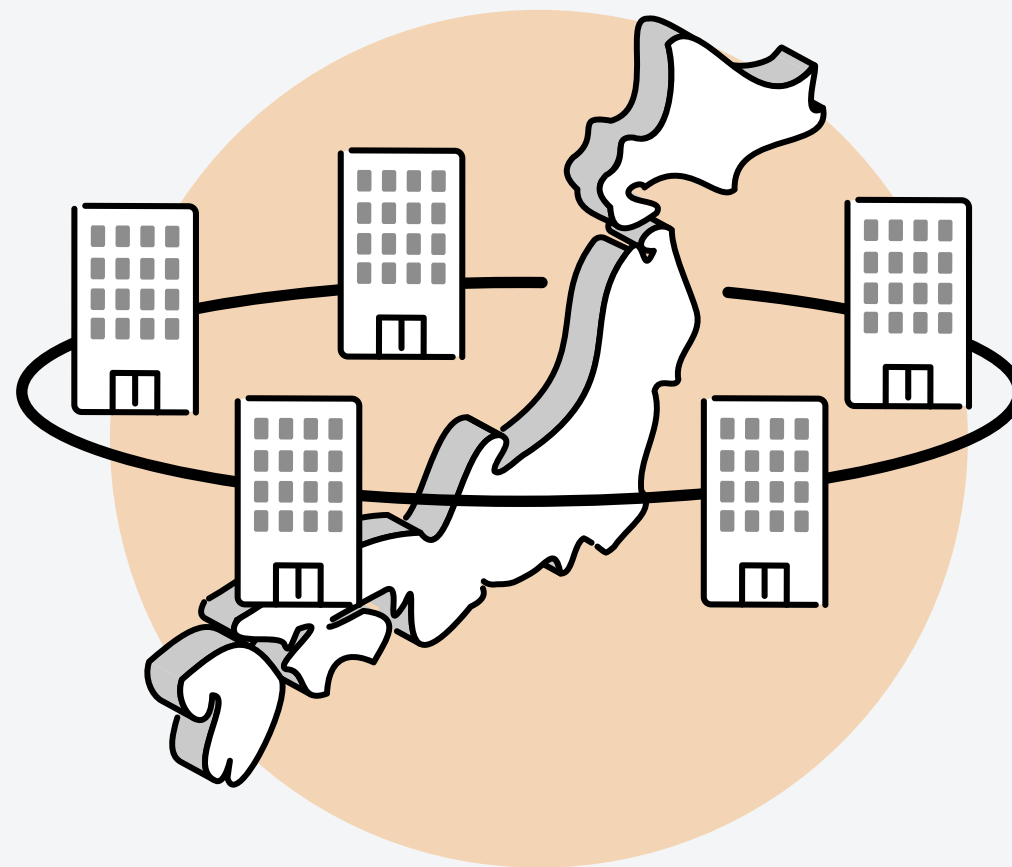
# 導入実績約15万戸！

災害共助SNS



日本全国で活用中！

**2,559** 力所  
(14万7,697戸)



# ジャパン・レジリエンス・アワード 2025 優秀賞を受賞



2024年より国土強靱化推進本部（本部長：内閣総理大臣）により次世代に向けたレジリエンス社会構築への取り組みについて国土強靱化に資する民間の取り組み等を更に推進するため、内閣総理大臣賞・国土強靱化担当大臣賞も創設されました。

内閣官房 国土強靱化推進室

「国土強靱化 民間の取組事例集」  
に掲載されました。





# 災害共助SNS が生まれた理由

Resilience

## ■ 災害共助SNSが生まれた理由

# 「在宅避難」という課題

倒壊しにくいマンションは在宅避難が基本です。

しかしマンション居住者にはこのような困りごと...。



外出先から帰宅できず、家族がバラバラで連絡が取れない。

---



電話もメールもつながらない。

---



管理会社、管理員も同様に被災していて動けない。

---



TV、一般のSNSでは自宅の被災状況やライフラインの情報が入手できない。

---



家族の安否を確認したいが、隣近所の連絡先を知らず、依頼できない。

---

## ■ 災害共助SNSが生まれた理由

# 「在宅避難」という課題

災害共助SNS『ゆいぽた』は、  
災害時だけ居住者同士がつながり  
情報を共有し、共助を促すサービスです。



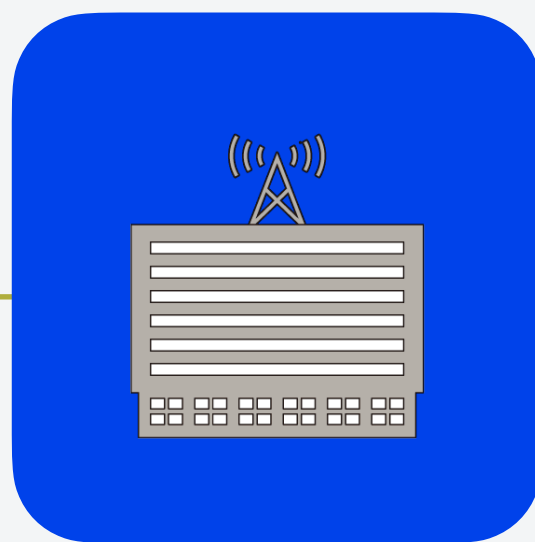
# ゆいぽたの しくみ

Resilience

## 「平常モード」から「災害モード」へ



地震や風水害が発生



気象庁などの情報を  
受信



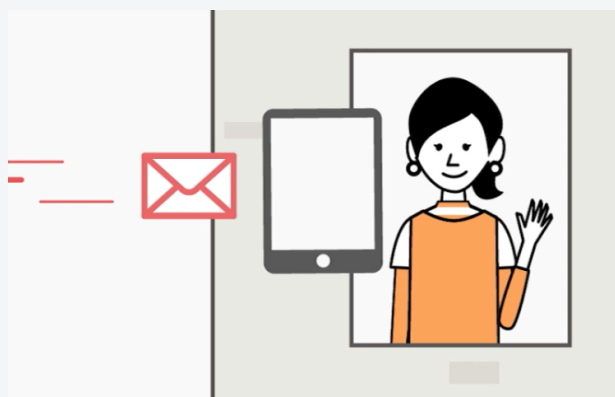
「警戒モード」または  
「災害モード」が起動



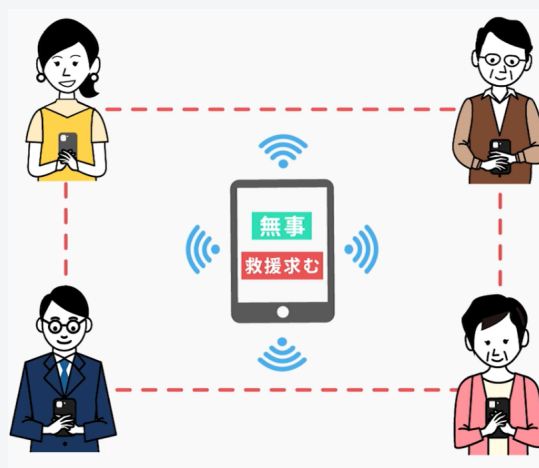
居住者がつながり、  
共助機能が  
使えるように！

## ■ ゆいぽたのしくみ

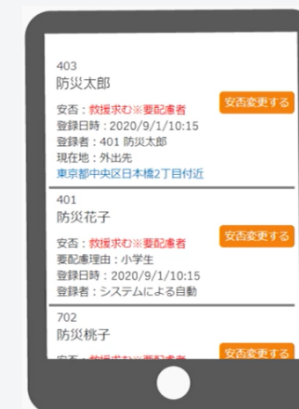
# 「災害モード」でできること



モードが起動すると  
安否確認のメールを  
送信



安否情報は家族で共有



確認が必要な方を  
リスト化して全員で  
共有

## 豊富なコミュニケーション機能



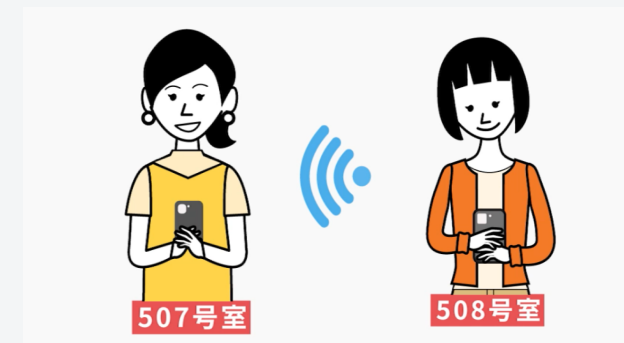
### 居住者掲示板機能

居住者同士で情報を共有



### 管理者メッセージ機能

理事長など管理者から、  
居住者全員にお知らせ配信



### 住戸間メッセージ機能

連絡先が不明でも、  
住戸番号だけでメッセージ

## 安否確認カード



カードの持ち主が  
外出中に被災

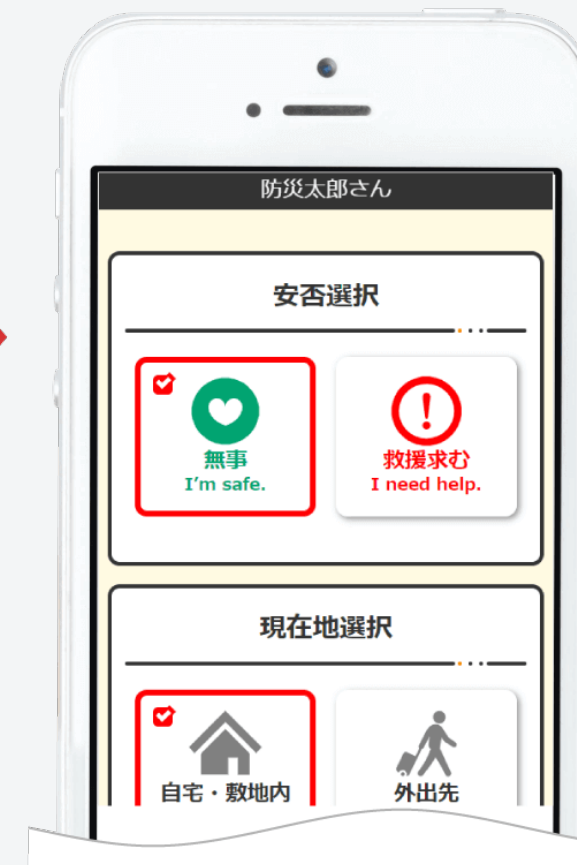


QRコードを  
読み取っていただく

※カードはイメージです。



他人





## 導入のメリット

Resilience

## ■ 導入のメリット

# 災害共助SNS『ゆいぽた』の防災活動

- ✓ 外出先の居住者の安否も集約可能（安否集計、安否連絡カード機能）
- ✓ 居住者へ一斉にお知らせ配信（管理者メッセージ機能）
- ✓ 居住者同士の連絡、掲示板（住戸間メッセージ、掲示板機能）
- ✓ 要配慮者がリスト化され把握可能（安否確認リスト）

## ■ 導入のメリット

災害対策本部、防災組織のアナログ活動を**互いに補完し**、  
災害時活動を**より円滑に進められます**。



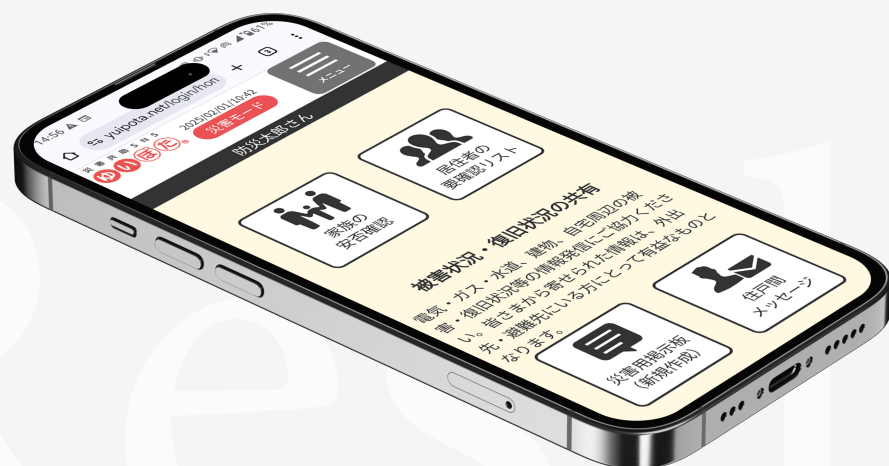
# ■ 導入のメリット

居住者へ一斉のお知らせ配信

要配慮者のリスト化

居住者同士の連絡

情報の共有で効果的にサポート！



災 害 共 助 S N S

ゆ い ほ た<sup>®</sup>

Resilience +